

# 6月令部 今年度地下化

## 参院委・山添氏に 防衛省認める

防衛省は20日、2023年度予算に盛り込まれた自衛隊施設の司令部の地下化について、陸上自衛隊那覇駐屯地、航空自衛隊那覇基地、那覇病院（いずれも沖縄県）で、陸自健軍駐屯地（熊本県）、空自新田原基地（福岡県）、空自築城基地（福岡県）が対象だと明らかにしました。

党の山添拓議員の追及で認めたもの。

司令部の地下化は、安保3文書に基づく「自衛隊施設の抗たん性（攻撃に対する抵抗力）向上」をめらかにしました。参院外事防衛委員会で、日本共産党の山添拓議員の追及で認めたもの。

おり、「核兵器などによる攻撃も想定したのでなければ説明がつかない」と強調。浜田靖一防衛相は正面から答へ、「わが国の安全につながる」と述べることとしました。

参院委員長の山添氏は「核攻撃の対処となることを想定したもので、山添氏は「抗たん性向上」の内閣官房の声を上げるのは当然で、核兵器などの攻撃（「C.B.R.N.e」＝シーバーン）にきた」と批判しました。

参院外防委  
20日、参院外防委



■司令部の地下化が行われる自衛隊施設



参院委員長の山添氏は「核兵器などの攻撃（「C.B.R.N.e」＝シーバーン）にきた」と批判しました。

対する防護も含まれていると指摘し、対象施設について質問。防衛省の杉山真人施設監は「施設能力が明らかになるため答えを控える」と拒否しました。

山添氏は、政府が「現実的なシナリオーション」を行った上で自衛隊施設の整備を進めてくると説明して